

## 東濃鉄道株路線バス帷子線について

### 1. 概要

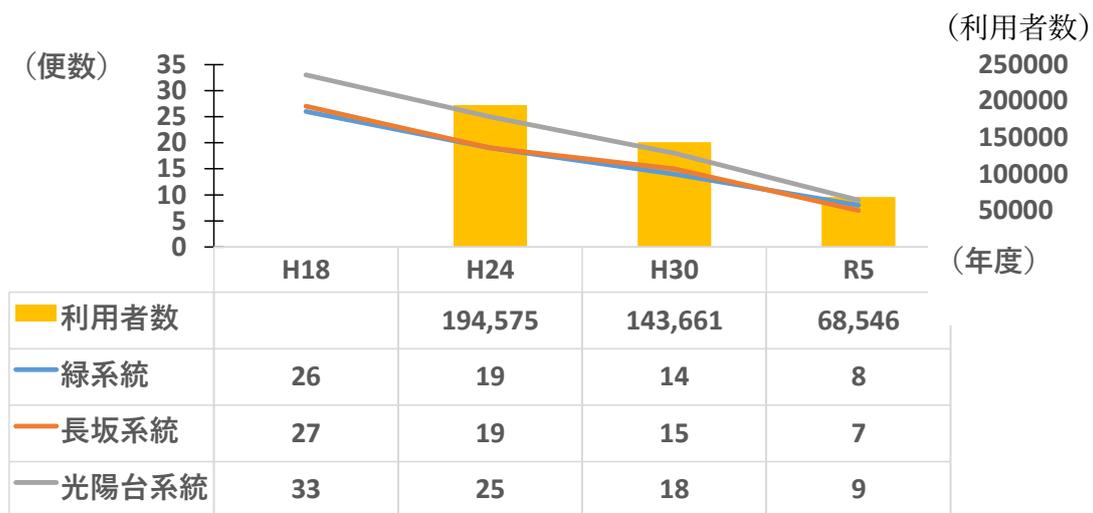
現在、帷子地区においては、西可児駅から各団地内へ東濃鉄道の路線バス（帷子線）が運行している。この路線は赤字路線となっているが、帷子地区住民の生活支援の路線のため、市は7,000千円を上限に赤字補てんの補助金を支出し、路線を維持している。

東濃鉄道から路線バス帷子線の今後のあり方について相談があったため、地域住民にとっての利便性や公的な財政負担、事業者による安定運営を含め、持続可能な移動手段を確保するため、地元とも協議していく。

### 2. 東鉄路線バス帷子線の経緯

- H16 名鉄バスから赤字を理由として撤退の申出。
- H17 東鉄と協議。補助金による赤字補填があるなら運行は可能。  
帷子自治連でアンケートを取り、補助金を出すなど存続の要望あり。
- H18 名鉄バスが撤退し、市の補助金で東鉄バスが運行を開始。
- H23 名称が「春里線」から「帷子線」に変わる
- H26 早朝減便。東鉄からは現状厳しいため、補助金がなくなれば撤退も検討との発言。
- R2 3系統を2台で回していたが、乗務員不足により、1人が1台で回すため大幅な減便。
- R5 乗客が少ない便（主に夜の最終20時ごろ）を減便。

### 3. 帷子線便数の推移



### 4. 現在の東鉄路線バスの路線図

別紙1のとおり